

第三條 年齢満五十歳以上ニシテ勤続満十年ニ達シタルモノハ  
勤続満二十年ニ達シタルモノニ依リ解雇シタル場合ニハ第一條ニ依  
ル金額ヲ支給ス

第四條 公務員傷ニ起因シテ從來ノ業務ニ振スルコト能ハサル為  
メ退職スル場合ニハ第一條ニ依リ解雇手當ヲ支給ス

第五條 病死者公務員傷致死者ニ對シテハ第一條ニ依リ解雇  
手當ニ相當スル金額ヲ弔慰金トシテ其遺族ニ支給ス

第六條 解任職ニ對シテハ各場合ニ於テ規定金額ノ二割  
ヲ増加支給ス

第七條 在勤中特ニ功績アリタル者ニ對シテハ前各條ノ外特  
別手當ヲ支給スルコトヲ得

第八條 懲戒ニ依リ解雇シタル者ニ對シテハ解雇手當  
ヲ支給セズ

芳村甲第六七八號

大正十一年十月二十八日

警視總監 赤池 濃

内務大臣水野錬太郎殿

京都大府神奈川兵庫

千葉 各府縣知事殿

司法省刑事局長殿

東京控訴院檢察長殿

東京地方裁判所檢察正殿

株式會社大島製鋼所爭議ニ

関スル件 (第十號)